

今後の活動予定

2013年3月9日（土） **受験生のためのオープンキャンパス2013**

物質棟にてブース及び「受験生のための相談会」を実施します。

ブースではちらしなどの配布に加え、本学学生の実生活（入学後の学生生活や1日のスケジュール、研究と授業の割合、就活と進路についてなど）についてパネル展示を行います。

また、「受験生のための相談会」では参画室室員や本学教員が適宜相談に応じます。

「託児室せんたん」での無料託児サービスも実施します。

オープンキャンパスで業務につかれています方（教職員、研究員、学生）はこの託児サービスを利用することができます。おもちゃの種類（ブロック、積み木、LaQなど）も増え、子どもたちがますます楽しく過ごせるようになりました。



活動報告

【報告】

科学技術振興調整費による「女性研究者支援モデル育成事業」（平成21年度～平成23年度）の評価において、本学の「先端科学技術を担う女性研究者の育成」事業が最も高い「S評価」を得ることができました。

詳しい評価結果については下記のリンクにてご覧ください。

文部科学省HP：http://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/hyouka/1329874.htm

科学技術振興機構HP：<http://www.jst.go.jp/shincho/24hyouka.html>

【セミナー参加】

2013年2月13日 ・大阪大学 平成24年度 第2回男女共同参画セミナー
「実際にイクメンやってみよう！」に参加しました。



大学院工学研究科准教授の中野元裕氏、総務企画部主任の前田健一郎氏が実際の育児参加や体験についてお話してくださいました。研究者と事務職員、という異なる立場から育児休暇取得の実際や、育児休暇中の実際の生活についてなど具体的な話を聞くことができました。研究者の立場では時期的な運や上司の理解に作用されるところが大きく、中野氏は時期が3月だったことや上司が子でくさんで育休取得に理解があったこともあり、研究・教育業務に大きな穴をあけることなく休みがとれた、とのこと。男性への育児休暇を認めるなど社会的な環境は整ってきていますが、実際に育休をとれる状況かどうかは職場の環境や周囲の理解によるところが大きい、と感じました。

前田氏も5日間の特休を利用して、実際に育児、家事を経験し、男性ならではの視点で主体的に取り組めるようになった、とのこと。妻に対しても自然と感謝の言葉がでるようになり、お互いに思いやりを持って接することができるようになったそうです。

育児や家事についての男性ならではの視点は、女性にとっても新たな視点となる場合があります。

それぞれの立場で建設的に意見を出し合い、ワークライフバランスについて再考するきっかけになれば、と感じました。

【会議等】

2013年2月25日（月） ・平成24年度スタートアップ研究費報告会を開催しました。

2月27日（水） ・平成24年度第2回男女共同参画推進会議を開催しました。

奈良先端大の育児に関する休暇制度(表は抜粋したもの) 詳細は人事課HP(学内関係者のみ閲覧可能)をご覧ください

休暇制度	制度の概要	期間	その他
子の保育休暇	子に対して授乳や託児所等への送迎等を行う職員に与えられる休暇	子が1歳に達するまで	1日2回それぞれ30分以内
妻の出産休暇(男性のみ)	妻の出産に伴う入退院の付き添い等を行う職員に与えられる休暇	妻の入院から出産後2週間までの間に2日	日または時間単位での取得可
男性職員の育児参加休暇	妻の産前産後期間中に、出産に係る子または小学校就学前の子を養育する男性職員に与えられる休暇	産前産後期間中に5日	日または時間単位での取得可
子の看護休暇	小学校就学前までの子を看護する職員に与えられる休暇	年5日 (2人以上の場合は10日)	日または時間単位での取得可

遠隔実験支援システムについて

本学では平成21年度に女性研究者への支援として遠隔実験支援システムを購入し、貸し出しサービスを行ってきました。実験指導や観測を遠隔で行えるようにするシステムで、在宅もしくは遠隔から研究・教育活動に携わることを可能にするネットワークです。

これからは利用対象を本学教員(客員教員を含む)、研究者に拡大し、この便利なシステムサービスを本学の研究教育活動のために有効活用していただきたいと思います。

これらのシステムについてご質問等あれば参画室までご連絡ください。



システム名	種類	用途	設置場所	貸出方法
遠隔実験支援システムA	遠隔カメラ	実験の指導・指示・実験結果の観測などを、カメラ等を利用し遠隔から行うシステムです。妊娠中の女性が危険な放射線や有機溶剤を用いる実験の場合など、共同研究者との協力で確実に研究を進めることを可能としています。暗転下での作業でも、鮮明な画像を投影可能で、研究者の安全と正確さを保障しています。	物質創成科学研究科 E601・E603・E604	参画室までご連絡下さい。
遠隔実験支援システムB	ポリコム HDX4000 + モニター (26インチ液晶テレビ)	高解像度な画像と高品質な音声の相互通信を提供する移動式のシステムを用いて、教員が遠隔(在宅)から学生の実験指導・指示および実験結果の観測を可能にするためのものです。また、出張に行かなくても、他機関の研究者とのコミュニケーションを容易にします。	各研究室で利用	参画室までご連絡下さい。
	ポリコム HDX6000 (モニター一体型)		各研究室で利用	参画室までご連絡下さい。
	ポリコム HDX8000 (52インチ液晶テレビ)		物質創成科学研究科F105	システムそばの利用簿にご記入の上、ご利用下さい。
遠隔実験支援システムC	顕微鏡システム	実体顕微鏡画像をネットワーク経由によりリアルタイムに遠隔地で確認することができ、学内での顕微鏡利用者と遠隔地にいる指導者とのディスカッションを可能とするためのものです。	バイオサイエンス研究科 D104	システムそばの利用簿にご記入の上、ご利用下さい。

ワークライフバランス相談窓口

福祉や育児に関する行政サービスの情報提供や研究と生活の両立についての悩みなど、幅広く研究者のワークライフバランスに関わる相談を受け付けておりますので、お気軽にお越しください。メールでの相談も受け付けています。

場 所: 学際融合領域研究棟2号館3階 男女共同参画室内
 受付窓口: 男女共同参画室内受付または専用メールアドレス
 受付時間: 月曜日～金曜日 10:00～12:00/ 13:00～16:00
 直通TEL: 0743-72-5138
 専用E-mail: wlb-soudan@ad.naist.jp